



2026.04.22 発行

全国エリアマネジメントネットワーク事務局
エリアマネジメント研究交流会実行委員会事務局

エリアマネジメント研究交流会 発表エントリーのご案内

エリアマネジメント研究交流会の第6回を今年度も開催致します。本研究交流会は、全国エリアマネジメントネットワーク、UDC ネットワークの2者による実行委員会で運営しており、エリアマネジメント研究の深化、すそ野の拡大、研究者と実務者の意見交換・交流の場の提供を目的としています。

この研究交流会では、エリアマネジメントに関する知見を深め共有していくための発表者を募ります。

エリアマネジメント研究交流会

この研究交流会では、エリアマネジメントに関する調査、研究や実践について広く発表者を募り、研究者同士、研究者と実務者での議論を通じてエリアマネジメントの役割や価値・評価、実践知等についての知見を深め、共有していきたいと考えております。

第6回として**2026年6月13日(土)**に開催することと致しました。5月より発表者の募集を行いますので奮ってご参加ください。本研究交流会は、出来るだけ多くの発表が行われるよう厳格な審査等を行いません。また、一定の結論や独創性、先駆性を求めるものでもありません。着手したばかりの調査、研究でも広く受け付けますので、よろしくお願いいたします。

開催日：2026年6月13日(土) 11時～18時(予定)

※発表者の人数によって開催時間は変更になります。

主催：エリアマネジメント研究交流会実行委員会

開催方法：発表者及び実行委員会のみ会場参加、その状況をオンライン配信

会場：東京都(丸の内にて開催予定) ※会場の詳細は参加者のみにお伝えいたします。

今年度より一部内容をリニューアルして開催します。

過去5回の運営内容を踏まえて、今回からこれまでの発表カテゴリー等を見直します。

以下、主な変更点になります。

	これまで	今回から
発表カテゴリー	3カテゴリー 調査報告、研究報告、事例報告	2カテゴリー 調査研究報告、実務報告
発表者が作成する資料	いずれのカテゴリーにおいても所定様式の梗概と自由様式の発表資料を提出	【調査研究報告】は梗概の提出、 【実務報告】は概要PPTの提出 ※自由様式の発表資料は全員提出
発表者数	特に取り決めはなし	2名を上限とする
アワード	3カテゴリー毎の賞とベストプレゼンテーション賞	2カテゴリー毎の賞とニューホープ賞

より参加しやすく、実践に活かしやすい内容へと一部リニューアルして開催します。

- * エリアマネジメントに関する研究・調査を行っている方
 - * 現場での実践事例を共有したい実務者
 - * これから研究・実践を深めていきたい方
- 是非ご参加ください。

研究交流会の募集対象

募集対象は、エリアマネジメントに関する報告です。ここでは「エリアマネジメント」として、以下のような内容を想定しています。また、応募者の資格は問いません。本研究交流会の趣旨を良くご理解頂いた研究者、実務者の応募を期待します。

- ✓ 特定の地域（エリア）を対象としている
- ✓ エリア内の地権者・事業者・住民などエリアの関係者が集まって活動している（組織がある）
- ✓ エリアの現状や課題を議論、共有しながらその解決に取り組む活動を展開している
- ✓ エリアの将来ビジョンを関係者と議論し共有しながら活動を展開している（共有を目指している）
- ✓ 道路や公園等の公共空間や民地の空地等のオープンスペースでの活動に取り組んでいる
- ✓ 対象としているエリアの自治体と連携しながら活動をしている

応募して頂く報告は未発表のものに限りませんが、以下に記載するもので、著作権上の問題を生じないものについては、未発表とみなします。

- ✓ 学会等で開催されたシンポジウム、研究発表会、国際会議等で梗概または資料として発表したもの
- ✓ 卒業論文、修士論文、博士論文、授業の成果物として大学等で部内発表したもの
- ✓ 大学の紀要、研究機関の研究所報等で部内発表したもの
- ✓ 国、自治体、業界、団体からの委託調査・研究の成果報告書
- ✓ 速報、資料、試論、ノート等として雑誌等に発表したもの

募集カテゴリーと審査基準

✓ 報告は以下のカテゴリーに分けて申し込みを受け付けます。

調査研究報告	実務報告
エリアマネジメントに関する事象やデータに対し、客観的・学術的なアプローチを用いて分析・考察を行い、エリアマネジメント分野における新たな知見、理論、または普遍的な価値を見出す取り組み ※学生の「社会実験」に関する報告は調査研究として取り扱う	特定の地域におけるエリアマネジメントの実践について、その事業プロセスや組織運営、空間活用（社会実験を含む）の成果やエリアマネジメントの取組を拡げる新たなチャレンジに関する、現場からの具体的な報告 ※学術的な成果を求めるものではない

なお、実行委員会の判断で発表カテゴリーを変更させて頂くことがあります。

✓ 各カテゴリーの審査基準は以下になります。

調査研究報告	実務報告
<ul style="list-style-type: none"> ○新規性・独創性 ・エリアマネジメントの調査、研究としてこれまでにない新しい視点、対象、あるいは独自の調査・分析手法が用いられているか ○妥当性・客観性 ・調査手法やデータの収集・分析プロセスが適切に明示され、導き出された結論に論理的な飛躍がないか ○有用性 ・得られた知見が、エリアマネジメントの学術的発展、あるいは他地域の実務への応用に寄与する価値を持っているか ○表現の適切さ・明確性 ・調査・研究としての構成が明確で、図表なども含めて他者が理解しやすく論理的に記述されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ○実行性・実践性 ・多様なステークホルダーとの合意形成、資金調達、規制のクリアなど、現場ならではのハードルを乗り越えるプロセスに創意工夫や実行力が伴っているか ○課題解決性 ・対象エリアのリアルな課題やニーズを的確に捉え、空間の質の向上や人流の変化、新たな営みの創出など、まちに具体的な価値や成果をもたらしているか ○波及性・モデル性 ・実践から得られたノウハウやアプローチが、他のエリアマネジメントの現場にとっても参考となるモデル的な価値を持っているか ○継続性 ・一過性の取り組みに留まらず、継続的な体制づくりやマネタイズの仕組みが構築されており、今後のさらなる展開が期待できるか

スケジュール ※今年度は以下のスケジュールで開催

①.エントリーのご案内・エントリーシートの公開	4月20日(月)
②.エントリー受付期間	5月7日(木)～5月25日(月)
③.プログラムの作成	5月26日(火)～6月1日(月)
④.発表者への連絡	6月2日(火)
⑤.発表用資料締切	6月9日(火)
⑥.研究交流会	6月13日(土)
⑦.開催後記の掲載(全国エリマネ HP 掲載)	6月14日(日)～6月19日(金)
⑧.副賞発送(アワード受賞者)	9月下旬～10月上旬を予定
⑨.梗概集の掲載(全国エリマネ HP 掲載)	年内掲載予定

※1_開催後記及び梗概集は全国エリマネ HP に掲載します。

※2_副賞の発送は、大凡3ヶ月後の発送を目処としておりますが制作の都合によっては大幅に変更となる場合があります。

応募方法

発表希望者は所定のエントリーシートに必要事項を記入し応募申込(報告タイトル・報告者・報告要旨)エントリーシートはこちら→ <https://forms.cloud.microsoft/r/VH3ErBQ1Yy>

※Microsoft Foam で作成しています。

エントリー期間

【エントリー受付期間】2026年5月7日(木)～5月25日(月) 23:59まで

研究交流会までの流れ

- ①発表希望者は所定のエントリーシートに必要事項を記入し応募申込(報告タイトル・報告者・報告要旨)
 - ②実行委員会でエントリーシートを確認した上で応募者に発表可否を連絡
 - ③発表者は研究交流会の3日前までに発表資料(様式自由)と梗概(所定様式で調査研究報告カテゴリーの発表者のみ)、発表概要(所定様式で実務報告カテゴリーの発表者のみ)を準備
 - ④研究交流会で発表および議論
- ※発表者は原則現地会場参加

研究交流会での発表とその後の展開

- ①研究交流会での発表に関して優れた内容数件に対して実行委員会より「アワード進呈」を行います。
 - ②実行委員会では「エリマネ研究交流会梗概集」の発行を予定しています。
- ※梗概は様式指定とし、後日様式を示します。

実行委員会

	所属	氏名
実行委員長	大阪公立大学 教授	嘉名 光市
委員	日本大学 准教授	泉山 壘威
	和歌山大学 准教授	上野 美咲
	山口大学 教授	宋 俊煥
	大阪公立大学 講師	高木 悠里
	東京都市大学 教授	丹羽 由佳理

	横浜国立大学 教授	野原 卓
	岡山大学 准教授	堀 裕典
	東北大学 特任教授	御手洗 潤
	東京大学 教授	村山 顕人
	富山大学 講師	藪谷 祐介
	京都産業大学 教授	要藤 正任
事務局	全国エリアマネジメントネットワーク	関口 泰子
	全国エリアマネジメントネットワーク	長谷川 隆三
	UDC ネットワーク	三牧 浩也

【お問合せ】 エリアマネジメント研究交流会実行委員会事務局

E-mail : amrmeeting.2021@gmail.com ※○を@に変えて送信